



ふる郷を拓く!

錦秋のご挨拶

皆様方におかれましては、ますますご健勝の事とお慶び申し上げます。また、コロナ感染症との闘いが長期化する厳しい環境の下、医療関係者並びに関係する全ての皆様の、収束に向けた多大なるご尽力に、心より感謝と敬意を表します。

さて、令和3年第3回定例会が9月14日から10月8日までの25日間の日程で開催され、4日目には私も今回初となる**自民党県議団代表質問**に臨みました。県に対し、コロナ感染症にかかる医療提供・経済立て直し等に加え、行財政運営の指針・流域治水対策・中小企業振興策・第一次産業の稼ぐ力など、県政の諸課題について質しました。特に今回は本年8月下旬から9月にかけて、自民党県連にて開催された友好団体40団体との意見交換を踏まえての代表質問であり、各団体から頂いた課題を県に訴える事が出来ました。加えて、本年度より拝命している、**自民党県議団副会長**として県内各地より寄せられる課題を把握し、政策決定につなげる筋道の重要性について認識を深めつつ、**環境厚生委員長**として医療面・経済面における間違いのないコロナ感染症への対応にしっかりと尽くして参ります。

重責に身が引き締まる思いですが、アフターコロナを見据え、誰もが活躍できる社会の実現に向けて、鹿屋・垂水の声を県政に反映すべく、邁進して参ります。今後とも引き続き、ご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



自民党県議団代表質問

第3回定例会 本会議 質問 抜粋

農業政策

■稼ぐ力の向上について

農業産出額は、平成29年以降3年連続で全国2位と順調に推移しているが、生産農業所得率は平成30年、令和元年度は全国最下位であり、他都道府県と比較して収益性が低く、農業者の所得の確保を図るためには、付加価値向上や農業生産の低コスト化、デジタル化などに取組む必要がある。また、平成30年3月に「県農林水産物輸出促進ビジョン」が策定され、品目横断的な取組が進められ、令和2年度の県産農林水産物の輸出額は対前年度比5%減の約214億円、コロナの影響で水産物の輸出が落ち込んだものの、農畜林産物は平成23年度の公表開始以降最高額を更新した。

教育政策

■全国学力・学習状況調査について

文科省は、5月27日に全国の小学6年生と中学3年生を対象とした全国学力・学習状況調査を2年ぶりに実施し、8月31日に結果が公表された。今年度は全国194万人が参加し、国語と算数・数学の2教科のテストを受け、平成25年度以降初めて小学校の国語・算数が全国平均を上回った。また中学校では、国語・数学共に全国平均を下回ったが、2年前の前回調査より全国平均との点数差は縮まり、非常に喜ばしいことである。今後、更なる分析をし、学力向上対策についての対応が求められる。

また、今回コロナ感染症の影響による児童生徒の学習状況調査も実施され、昨春の一斉休校時に「勉強への不安を感じた」と回答した児童生徒は6割前後に上った。休校中に、学校からの課題で分からないことがあった時に「自分で調べた」や「家族に聞いた」と回答した児童生徒の割合が多かったのに対し、「先生に聞いた」と回答したのは1割前後で休校中は家庭学習の負担が大きかった事が伺える。「分からない事をそのままにした」と回答した児童生徒の割合は、本県では全国平均より多かったことから、今後更なるコロナ感染拡大により学級閉鎖や学年閉鎖等の対応をする場合には、ICT機器の活用等により家庭学習においても学校とのつながりを継続し、児童生徒の心身の健康と学習の両面を支える事が求められる。

行財政改革

平成24年3月に策定された、行財政運営戦略の評価と今回の指針案において特に重きを置いている点、県庁組織のあるべき姿、並びに健全な財政運営の拠り所となる指標を新たに設定する考え方が示された。また、県職員採用試験の実施状況や課題、採用試験を取り巻く諸情勢の変化を踏まえた優秀かつ多様な人材の確保、育成のあり方について示された。

保健福祉行政

■医療的ケア児等の支援について

本年3月に県議会より知事に対して、「医療的ケア児」への支援について政策提言を行い、本年9月18日より国において「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行された。本県の令和2年7月1日現在の医療的ケア児・者は291人で、うち20歳未満の医療的ケア児は242人です。今般、医療的ケア児及び家族に対する相談・情報提供・助言等の支援を行う「医療的ケア児支援センター」の設置が都道府県においてできる事となった事から、本県でも設置について検討を行う必要がある。

環境林務行政

■世界自然遺産登録

去る7月26日にはユネスコの世界遺産委員会にて「奄美、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に決定した。今回の決定は平成15年5月に、国の検討会において候補地に選定されて以来、平成30年5月の登録延期勧告や国による推薦取り下げ、再推薦、令和元年10月の国際自然保護連合(IUCN)の現地調査など、遺産の価値や登録への取組みが評価された。屋久島と併せて2つの世界自然遺産と、1つの世界文化遺産(明治日本の産業革命遺産)を持つ全国唯一の県であり、今後の観光戦略構築への起爆剤となり得る。

文化芸術活動

■県文化芸術推進基本計画等について

県は、本年3月に文化芸術振興施策の推進を図る為「県文化芸術推進基本計画」を策定したが、文化庁が本年3月に公表した「文化に関する世論調査報告書」によると、美術展や映画などの文化芸術イベントを1年間に直接鑑賞した人の割合は41.8%で前年度の67.3%から25.5ポイントの大幅減。また、ピア総合研究所によると令和2年のライブ・エンタテインメント市場規模は、前年比82.4%減の1106億円となった。国は、演劇や美術展など文化芸術イベント等に最大2500万円を支援する制度を拡充したり、感染症防止や配信等環境整備に係る支援等を打ち出している。また県では、文化芸術団体が活動を再開・継続できるよう支援を行っている。ただ国・県の支援は、公演や興行などを積極的に実施する事が補助の前提であり、コロナ禍で経済的苦境にある団体や事業者は利用しづらいといった声もある。文化芸術は、人々に楽しさや感動・精神的な安らぎをもたらすものであり、コロナ禍でストレスの多い日常を送る我々にこそ必要不可欠で、文化芸術を創りだす人々への支援を今後も継続する必要がある。

令和3年5月~8月

4カ月の活動報告

環境厚生委員会 臨時委員会

妊婦体験

第5子誕生



25日 8月 鹿屋市 県庁
環境厚生委員会の臨時委員会を行い、コロナ対策についての県の取組を質問。



2日 鹿屋市
鹿屋市保険相談センターにて妊婦体験をさせていただきました。



31日 7月 鹿屋市
朝9時54分に第5子、三男坊が誕生しました。ドクター・看護師さん、助産師さん、そして妻に心より感謝です。



30日 マリンポート高速船乗船 鹿屋漁協 鹿屋市
鹿屋漁港よりマリンポートへの高速船に県議団で乗船。錦江湾海上交通の可能性を調査。



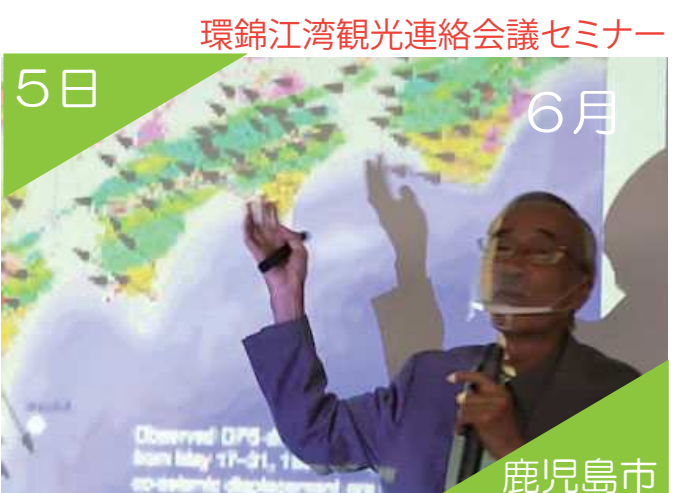
23日 『港めぐりクルーズ』に参加 鹿児島港
港湾のこれまでの歴史や先輩方のご努力を知ることができ、大変勉強になりました。



17日 鹿屋串良JCT～志布志IC間 開通式典 志布志市
森山先生の『陸の孤島からの脱却と大隅新時代の到来』というご挨拶に感銘を受けました。



10日 6月 串良 鹿屋市
鹿屋市串良平和アリーナにてワクチン接種会場を視察。緊張感の中にも、不備のない動線確認が行われていました。



5日 6月 鹿児島市
鹿大木先生の地質学のお話を拝聴。錦江湾の多様性や今も鹿児島は移動中など、驚きの連続でした。



24日 5月 今坂町 鹿屋市
農政部長をお招きし、農家さん向けの『さつまいも基腐病』についての勉強会開催。



23日 『大根占田代道路』新規事業化報告会 錦江町
森山代議士による16kmの新規事業化報告会。本年度は4,000万円の箇所付で予備設計が行われる見通し。



22日 串良 鹿屋市
見事2対0で、花王コスメ小田原に勝利で、目下負けなしの4連勝。地元の観客の皆様と歓喜を分かち合いました。



19日 鹿屋市 垂水市
5月第4週は県民防災週間です。大隅地域振興局長などと一緒に、鹿屋・垂水の点検箇所を巡らせて頂きました。

【県議会所属委員会】
令和3年度
環境厚生委員会委員長

【自民党県議団役職】

- ・自民党県議団 副会長
- ・自民党県連 青年局長
- ・子供・子育て調査会 会長
- ・畜産振興調査会 事務局長
- ・建設問題調査会 事務局長

【略歴】
西原台小・第一鹿屋中・鹿屋高校卒業
H14 大阪大学経済学部卒業
H14 日本航空 (JAL) 入社
H21 鹿児島大学院 農学研究課修士取得

ごうはら拓男 事務所
〒893-0057
鹿児島県鹿屋市今坂 12403-10
TEL : 0994-45-7801

郷原拓男の活動はココカラチェック

市内各地にて「ミニ集会」を開催します！

県政報告は、いつでもどこへでもお伺いします。地域の課題を教えてください、県政に届けて参ります！